

この添付文書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読み下さい。

【漢方薬】

# オウゲEP錠

第2類医薬品

◆ オウゲEP錠は外台秘要<sup>げたいひよう</sup>という書物に書かれている処方をもとにした漢方薬の錠剤です。

## ⚠ 使用上の注意



### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
  - 医師の治療を受けている人。
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- 服用後、まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

- 1ヵ月位(鼻出血、二日酔に服用する場合には5～6回)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 効能・効果

体力中等度以上で、のぼせざみで顔色赤く、いらいらして落ち着かない傾向のあるものの次の諸症：  
鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔、血の道症<sup>a)</sup>、めまい、動悸、更年期障害、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ、口内炎

a) 血の道症：月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安や  
いらだちなどの精神神経症状および身体症状のことを示します。

## 用法・用量

次の量を食前又は食間<sup>注)</sup>に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

注)「食間」とは食後2～3時間を指します。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人(15歳以上)	6 錠	3 回
15歳未満7歳以上	4 錠	
7歳未満5歳以上	3 錠	
5歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- 用法・用量を厳守すること。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

## 成分・分量

本剤18錠(3.6g)中

オウゴン	1.08 g	} 黄連解毒湯エキス(9/25量).....0.44g
オウバク	0.54 g	
オウレン	0.54 g	
サンシシ	0.72 g	

オウゴン末.....0.405g

オウバク末.....0.203g

オウレン末.....0.203g

サンシシ末.....0.27 g

添加物として軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、乳糖、バレイシヨデンブ、ヒドロキシプロピルセルロースを含有する。

- ・本剤は黄褐色で、特異なおおいを有し、味は苦い素錠です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがあります、効果に変わりはありません。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 分包品において1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

オウゲEP錠は生薬の特性を活かした漢方薬ですので、あなたの体質や病状を考えて正しく服用することが大切です。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、漢方薬のことをご理解いただいている医師、薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

### お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元

剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号